

総合科学技術・イノベーション会議 重要課題専門調査会

# 「地域における人とくらしのワーキンググループ」 について

総合科学技術・イノベーション会議 重要課題専門調査会

第9回「地域における人とくらしのワーキンググループ」

2016年12月7日

# 総合科学技術・イノベーション会議

## 1. 機能

内閣総理大臣及び内閣を補佐する「知恵の場」。我が国全体の科学技術を俯瞰し、各省より一段高い立場から、総合的・基本的な科学技術政策の企画立案及び総合調整を行う。平成13年1月、内閣府設置法に基づき、「重要政策に関する会議」の一つとして内閣府に設置(平成26年5月18日までは総合科学技術会議)。

## 2. 役割

- ① 内閣総理大臣等の諮問に応じ、次の事項について調査審議。
  - ア. 科学技術の総合的かつ計画的な振興を図るための基本的な政策
  - イ. 科学技術に関する予算、人材等の資源の配分の方針、その他の科学技術の振興に関する重要事項
  - ウ. 研究開発の成果の実用化によるイノベーションの創出の促進を図るための環境の総合的な整備に関する重要事項
- ② 科学技術に関する大規模な研究開発その他の国家的に重要な研究開発を評価。
- ③ ①のア. イ. 及びウ. に関し、必要な場合には、諮問を待たず内閣総理大臣等に対し意見具申。

## 3. 構成

内閣総理大臣を議長とし、議員は、①内閣官房長官、②科学技術政策担当大臣、③総理が指定する関係閣僚(総務大臣、財務大臣、文部科学大臣、経済産業大臣)、④総理が指定する関係行政機関の長(日本学術会議会長)、⑤有識者(7名)(任期3年(平成26年5月18日までに任命された者は2年)、再任可)の14名で構成。

## 総合科学技術・イノベーション会議有識者議員 (議員は、両議院の同意を経て内閣総理大臣によって任命される。)

[関係行政機関の長]



久間 和生 議員  
(常勤)

元三菱電機(株)  
常任顧問

(H27.3.1~H30.2.28)  
(初任:H25.3.1)



原山 優子 議員  
(常勤)

元東北大学教授

(H27.3.1~H30.2.28)  
(初任:H25.3.1)



上山 隆大 議員  
(常勤)

元政策研究大学院  
大学教授・副学長

(H28.3.6~H31.3.5)  
(初任:H28.3.6)



内山田 竹志 議員  
(非常勤)

トヨタ自動車(株)  
代表取締役会長

(H27.3.1~H30.2.28)  
(初任:H25.3.1)



橋本 和仁 議員  
(非常勤)

国立研究開発法人  
物質・材料研究機  
構理事長

(H27.3.1~H30.2.28)  
(初任:H25.3.1)



小谷 元子 議員  
(非常勤)

東北大学教授兼原  
子分子材料科学高  
等研究機構長

(H28.3.6~H31.3.5)  
(初任:H26.3.6)



十倉 雅和 議員  
(非常勤)

住友化学(株)  
代表取締役社長

(H28.3.6~H31.3.5)  
(初任:H28.3.6)



大西 隆 議員  
(非常勤)

日本学術会議  
会長

# 総合科学技術・イノベーション会議組織図

## 総合科学技術・イノベーション会議

- ① 科学技術に関する基本的な政策の調査審議
- ② 予算・人材等の資源配分方針等の調査審議
- ③ 国家的に重要な研究開発の評価
- ④ イノベーション創出に関する環境整備等の調査審議

## 経済財政諮問会議

- ① 経済財政政策に関する重要事項についての調査審議
- ② 経済財政政策に関連する重要事項について、経済全般の見地から政策の一貫性・整合性を確保するための調査審議

### 基本計画専門調査会 (H26. 10. 22~)

科学技術の振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、国内外の情勢を踏まえて、科学技術の振興に関する基本的な計画について調査・検討を行う。

### 経済社会・科学技術イノベーション活性化委員会

(H28. 6. 9~)

- ・ 民間資金の活用を始めとする活性化策、基盤的な制度改革
- ・ 政策の「見える化」、エビデンスに基づくPDCAサイクルの確立
- ・ 科学技術イノベーションの将来像を踏まえた経済活性化、歳出効率化

※経済財政諮問会議と合同で設置・開催

### 科学技術イノベーション政策推進専門調査会

(H23. 8. 11~)

- ・ 個別テーマとしてヨコのテーマ（主に第5期基本計画の4章、5章）を扱う。
- ・ 科学技術イノベーション政策を俯瞰する視点から、中期計画である基本計画の推進とフォローアップ、毎年度の科学技術イノベーション総合戦略の策定とフォローアップ等を行う。

### 重要課題専門調査会

(H25. 9. 13~)

- ・ 個別テーマとしてタテのテーマ(2章、3章)を扱う
- ・ 専門調査会の下に戦略協議会・WG等を設置し検討

エネルギー戦略協議会、次世代インフラ戦略協議会、新産業戦略協議会、農林水産戦略協議会

環境WG、地域における人とくらしのWG、エネルギー・環境イノベーション戦略策定WG、システム基盤技術検討会、ナノテクノロジー・材料基盤技術分科会

※各協議会等の座長、副座長クラスの有識者は専門調査会委員を兼任

### 生命倫理専門調査会

(H13. 1. 18~)

- ・ 生命科学の急速な発展に対応するため、ヒトに関するクローン技術等の規制に関する法律第4条第3項に基づく特定胚の取扱いに関する指針の策定等の生命倫理に関する調査・検討

### 評価専門調査会

(H13. 1. 18~)

- ・ 評価のためのルール作り
- ・ 国家的に重要な研究開発の評価

# 総合科学技術・イノベーション会議の任務

## 1. 科学技術に関する基本的な政策

### 科学技術基本計画(5年)

国内外の情勢を踏まえ、科学技術の振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図る基本的な計画

### 科学技術イノベーション総合戦略(毎年)

科学技術基本計画を達成するために毎年作成する、府省庁の施策をまとめた総合的な戦略

## 2. 科学技術予算・人材の資源配分など

### 科学技術重要施策(重きを置くべき取組)

科学技術イノベーション総合戦略を実行するために、重点的な取り組みとして特定した府省庁の施策(予算)

## 3. 国家的に重要な研究開発の評価など

第4期: 2015年度  
(平成27年度)まで  
第5期: 2016年度  
(平成28年度)から  
2020年度(平成32  
年度)

総合戦略2016は、  
2017年度(平成29  
年度)予算の重きを  
置くべき取組(施  
策)で実行する



重要課題専門  
調査会で審議  
する

# 「Society 5.0」の実現を支えるプラットフォーム

Society5.0とは、

狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続く、以下のような新たな経済社会をいう。

- ① サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させることにより、
- ② 地域、年齢、性別、言語等による格差なく、多様なニーズ、潜在的なニーズにきめ細かに対応したモノやサービスを提供することで 経済的発展と社会的課題の解決を両立し、
- ③ 人々が快適で活力に満ちた質の高い生活を送ることのできる、人間中心の社会

